



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2022.11.21

# 教育委員会だより No.136



愛村心（I 尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

## 火災予防よびかけ

11月9日（水）、天栄村立天栄幼稚園と天栄村立湯本幼稚園の園児たちによる、火災予防呼びかけが行われました。

11月9日（水）から15日（火）までの7日間は、「秋の全国火災予防運動」期間でした。その初日、気持ちの良い晴天の中、二つの幼稚園の園児たちが、幼年消防クラブ員として、それぞれの地域に火災予防を呼びかけました。役場前駐車場には、天栄幼稚園児たちが集まり、「お出かけは、マスク、戸締り、火の用心!!」と大きな声で呼びかけました。

火の取扱いが多くなるこれからの時期、子どもたちの呼びかけを思い出して、我々大人も十分気を付けたいです。



## 天栄村幼・小連携研修会

10月27日（月）に天栄幼稚園を会場として、村内の幼・小学校の教員が集まって研修を実施しました。午前は保育参観、午後は協議会を実施しました。協議会では、所属の学校園の子どもの様子から、村全体として子どもに意識的に育みたい力について話し合い、今年度に引き続き「聞く力」「表現する力」の2つを重点として育てていくことを確認しました。協議会の最後には、県から招聘した、幼児教育専門の指導主事の先生から、年長から小学校1年生の時期に大切にしたいことなどをお話いただきました。

天栄村では、校種を越えて、定期的に研修や交流を行うことで、それぞれの子どもの実態を把握し、指導の実際を学び、教育環境の変化に対して円滑につなぐことができるよう保育・指導方法を工夫しています。



## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

### ○第58回天栄村文化祭・第27回生涯スポーツフェスティバル

11月5日（土）、6日（日）の両日、第58回天栄村文化祭が行われました。今回は、展示会場を生涯学習センターと山村開発センターで行い、幅広い年代からすばらしい作品が出品されました。6日には運動広場駐車場で村体育協会主催の生涯スポーツフェスティバルが行われたほか、キッチンカーの出店や子どもが遊べる大型遊具が設置され、野外特設会場として多くの村民の来場があり、大変にぎわっていました。屋内スポーツ運動場では、子ども夢学校によるSDGsワークショップや村内各小学校で収穫されたお米の販売、天栄山黄金太鼓保存会、天栄中学校吹奏楽部による演奏、村出身のタカサキユキコさんによるライブや最後には餅まきが行われ、どの会場も秋晴れのもと親子連れをはじめ多くの方が楽しい一日を過ごしました。



作品展示の様子



生涯スポーツフェスティバル



多くの子ども達で賑わった大型遊具



小学生によるお米の販売



天栄山黄金太鼓保存会の演奏



天栄中学校吹奏楽部の演奏



もちまきの様子

### ○成人学級「口笛を楽しもう！！」

11月14日（月）成人学級「口笛を楽しもう」が生涯学習センターで行われました。講師は中島村在住の高木満理子さんで、高木さんは幼いころ、父親から口笛の吹き方を習い、2006年に口笛音楽に出会いました。その後、プロ奏者に転向。2013、2014年にアメリカで開催された国際口笛コンクール成人女性の部で総合優勝を日本人初の2連覇を成し遂げました。また、文化庁派遣アーティストとして全国各地の小中高校等で演奏活動中です。現在、福島、郡山、会津若松で口笛教室を開講して多方面で活躍しています。

当日は本人の演奏の他、受講生に「もみじ」、「かえるのがっしょう」やカッコウなどの野鳥の鳴き声の吹き方を指導し、受講生らは和やかな雰囲気の中、学習していました。

